

「新たな“農業プレイヤー”を創出する」ことを目的とし、地域農業の労働力不足の実態と地域における労働力の実態調査を行い、新規就農者や担い手の経営発展を支援するために関係機関が連携して必要な時期に望まれる労働力をマッチングする体制の構築に取り組む。また、「農業とスポーツ」という2つを組み合わせることにより、それぞれの課題を解決するとともに、新たな価値を見出そうとする試みを進めながら地域活性化につながる農スポ関係人口の拡大を狙う。

## 事業実施主体構成員

福島松川町商工会 JAふくしま未来  
福島大学食農学類 福島大学地域スポーツ政策研究所

## 実績値（目標値）

①労働力受入担い手農家数： 「13」 (目標値 30)  
新たな“農業プレイヤー”の創出： 「234」 (目標値300)  
②労働環境に満足している被雇用者の満足度： 「81%」 (80%以上)

## 本事業での取組結果

※R3取組内容は下線部分

### ア 労働力の需給状況の把握（地域の状況及び労働力提供可能な者の把握等）

#### 【令和元年度事業】

「地域農業実態調査」（JAふくしま未来・福島大学食農学類）松川町・金谷川町の農家(1,039戸)の回答を得て、集計・分析を行った  
 ・経営の形態「家族経営が94.1%」・継者がいる「28.8%（血縁者20.6%、第三者0.5%、不明7.7%）」  
 ・家族労働力で足りている「48.1%」・常時雇用がない「96.5%」・臨時雇用がない「96.5%」・パート・アルバイトを雇用していない「96.5%」

### イ 労働力の確保・育成（情報発信等）

・R2「農スポキャリア研修会」を「3回」実施（果樹・酪農・刈払い）して、合計「21名」が研修に参加した。  
 ・R2「農スポイベント研修会」を「3回」実施（蕎麦打ち・林檎収穫・ポッチャ体験）して、合計「60名」が研修に参加した。  
 ・R3「農スポキャリア研修会」を「1回」実施（刈払機取扱講習会）して、合計「10名」が参加した。  
 ・R3「農スポイベント研修会」を「2回」実施（スポーツ教室&農業体験・農スポビレッジ）して、合計「30名」が参加した。  
 ・R3「協働プロジェクト学修・農スポ@南相馬」を実施して「15名」の登録があった。

### ウ 労働力等のマッチング及びデータベース化

・R2年度から求人サイト「ふくしま農スポ倶楽部（daywork）」を開設。・R2実績：「求人数288件、応募数216件、成立数178件」  
 ・R3実績（12月末時点）：求人数1,014件、応募数807件、成立数609件 ※アンケート総合評価「満足(28) + やや満足(7)：92% (35/n38)」  
 ・R3登録生産者数「13」 アクティブ支援者「234」（福島県内全登録支援者数：498）  
 ・年代別「20歳未満：7(3%)」「20代：81(35%)」「30代：54(23%)」「40代：42(18%)」「50代：39(16%)」「60以上：11(5%)」  
 ・職業別「高校生5(2%)」「大学生：53(23%)」「正社員：70(30%)」「契約社員：15(6%)」「専業主婦：13(6%)」「パートアルバイト：18(8%)」  
 「自営・自由業：17(7%)」「その他：11(5%)」「NA：32(13%)」

## エ 農業の「働き方改革」への取組み（課題調査及びセミナー開催等）

- ・R1農スポ特別セミナー：①「農業分野における担い手・労働力確保の取組について」講師：齊藤充生氏 農林水産省経営局就農・女性課経営専門職  
：②「スポーツがあってよかった社会を創る・かいぶつプロジェクト」講師：三橋亮太・住澤祐樹 (株)I.D.D.WORKS
- ・R2農スポ新春セミナー：「集落営農について（集落営農法人化の取組）」講師：山岸 渉 JA ふくしま未来 営農部 農業振興課
- ・R3「農スポビレッジ」の試行：福島市大笹生「まるえ観光果樹園内」に、『まるえ農スポビレッジ』を立ち上げた。 ※<https://bit.ly/3HtNlyQ>
- ・R3福島大学正課授業「協働プロジェクト学修」の科目として「農スポ@南相馬プロジェクト」が開講された。（5年継続予定）

## オ 他産地・他産業との連携による労働力確保

- 松川町内に留まらず「飯坂町商工会（福島市飯坂町）」ならびに「おおたま村づくり(株)（大玉村）」にご協力いただき範囲を広げて行うことができた。
- R3福島市商工会広域連絡協議会・福島県県北商工会連絡協議会・郡山市農業法人連絡会・福島県酪農業協同組合と連携し、マッチングを拡大した。
- R3(株)福島ACユナイテッド「福島ユナイテッドFC・農業部」と連携し、スポーツ教室と農作業の指導を行うことができた。

## 本事業取組みにおける成果項目

- ①労働力確保目標値を達成したか 達成数（目標数）
- ・労働力を受け入れる担い手農家等の数：「13農家」（30以上）
  - ・農業労働支援者数：「234人」（300以上）
- ②労働環境に満足している雇用者の割合：「81% n38」（80%以上）
- ③地域連携に参加した「人」・「団体」
- ・福島大学学生、他大学学生、専門学校学生、高校生
  - ・福島市商工会広域連絡協議会、福島県県北商工会連絡協議会
  - ・郡山市農業法人連絡会、福島県酪農業協同組合
- ④期待された効果の検証
- ・アクティブ支援者（234人）の新たな“農業プレイヤー”が創出された。
  - ・dayworkの活用により農スポ支援システムが確立され、若年層および様々な職業従事者とのマッチングが拡大した。
  - ・農スポ研修、農スポイベントへの参加者から好評を得ることができた。
  - ・コロナ禍で農業スキル研修を実施することができず、農家ニーズに即した人材育成を行うことができなかった。
  - ・コロナ禍で提灯祭や駅伝大会が2年間実施できず、農商工観光連携や伝統文化の継承、関係人口の増加等への関りを図ることができなかった。

## 次年度以降の取組み内容

1. 農スポ支援システム（daywork）事業について  
⇒「福島まっかわ農スポ協議会」での運営は行わない。  
※運営は「鎌倉インダストリーズ(株)」に移管する。
2. 農スポ研修事業について  
⇒「協働プロジェクト学修・農スポ@南相馬」内で継続していく。
3. 農スポビレッジ事業について  
⇒「福島大学地域スポーツ政策研究所・農スポLab」内で継続していく。
4. 一般社団法人日本農スポ推進協議会の設立について  
(令和4年3月中に設立し、4月から活動開始の予定。)

「福島まっかわ農スポ協議会」は、  
「一般社団法人日本農スポ推進協議会」と連携して事業を進めて行く。  
また、松川町と福島大学の連携をより一層深めていく。

# (イ) 労働力の確保・育成 : R3 「農スポ研修会・農スポイベント研修会」

## 【刈払機取扱講習会】



## 【福島ユナイテッドFC×松川サッカースポ少】



## 【まるえ農スポビレッジ】



## 【協働プロジェクト学修】

12月5日：福島大学講義室



12月19日：南相馬市小高区・金谷地区、井田川地区



(ウ) 労働力等のマッチング及びデータベース化：「ふくしま農スポ倶楽部」

仕事の基本データ

利用期間	3/28 ~ 12/31
利用日数	200日
利用生産者数	13人
仕事登録数	473件

マッチングの集計結果

集計項目	集計結果	備考
募集人数	1,014人	生産者が仕事に対して募集を行った延べ人数 (件数)
応募人数	807人	仕事に対して応募のあった延べ人数 (件数) 以下の応募状態に分類される [応募, 成立, 辞退, 中止, 遠慮, ドタキャン]
成立人数	609人	以下の応募状態を合計した延べ人数 (件数) [成立, 中止]
マッチング率	60%	成立人数÷募集人数
募集倍率	79%	応募人数÷募集人数

支援者 (年代別)

20未満	7	3%
20代	81	35%
30代	54	23%
40代	42	18%
50代	39	16%
60以上	11	5%
<b>合計</b>	<b>234</b>	<b>100%</b>

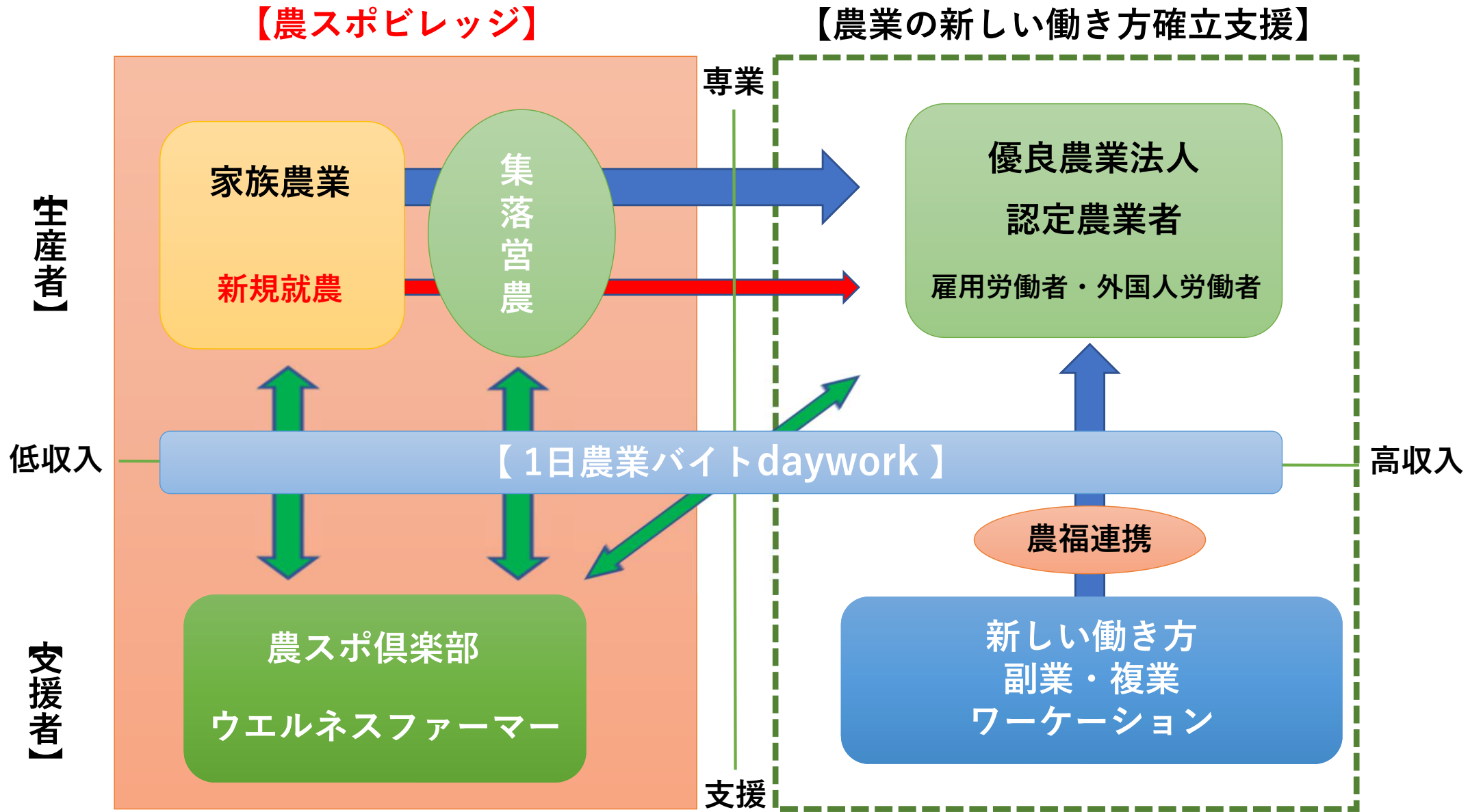
79%

支援者 (職業別)

高校生	5	2%
大学生	53	23%
会社員 (正社員)	70	30%
会社員 (契約)	15	6%
専業主婦	13	6%
パート・アルバイト	18	8%
自営・自由業	17	7%
その他	11	5%
NA	32	13%
<b>合計</b>	<b>234</b>	<b>100%</b>

65%

(エ) 農業の「働き方改革」への取組み：「新たな“農業プレイヤー”創出」



2019年～2028年 国連：「家族農業の10年」 (United Nations Decade of Family Farming)